

2025年10月30日

組合員・利用者さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- ・ JA晴れの国岡山では、経営理念である「組合員・地域・役職員、みんなが元気になる農業・地域の創造へ」のもと、「組合員・利用者さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、地域のより良い未来を創造していくため、組合員・利用者さまの幅広い資産形成ニーズにお応えするための具体的な取組を実践しており、その取組状況を公表いたします。

- ・ また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

晴れの国岡山農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者さまへの最良・最適な商品、サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当JAは、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、組合員・利用者さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

セレクトファンドの主な選定基準は以下のとおりです。

- ① 長期投資
将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること（いわゆるテーマ型投信ではないこと）
- ② 手数料
手数料が良心的な水準であること
- ③ 運用実績
過去の運用実績が相対的に良好であること
- ④ 将来性
これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層向けでは、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- ⑤ 運用体制
運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/tameru/tousisintaku/select/>

I. 取組状況

1 組合員・利用者さまへの最良・最適な商品、サービスの提供

(2) 共済仕組・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は組合員・利用者さまが不安なく暮らせるよう、生活を取り巻くさまざまなリスクに対する保障・サービスを提供しています。
- なお、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。
- また、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客様の声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

<多様なニーズにお応えするひと・いえ・くるまの総合保障>



万一の備え	● 一生にわたって備えられる万一保障	「終身共済」
	● 貯蓄しながら備えられる万一保障	「養老生命共済」
	● お手軽な共済掛金でライフステージに応じた必要十分な万一保障をしっかりと準備	定期生命共済(通減期間設定型)「みちびき」
医療・がんの備え	● 日帰り入院からまとまった一時金が受け取れる充実の医療保障	医療共済「メディフル」
	● 「生きる」を応援する充実のがん保障	「がん共済」
三大疾病などの備え	● 身近な生活習慣病のリスクに備える保障	特定重度疾病共済「身近なリスクにそなエール」

就労不能の備え	● 働けなくなるリスクに備えられる安心の保障	生活障害共済「働くわたしのささエール」
介護・認知症の備え	● 一生にわたって備えられる介護保障	「介護共済」
	● 一生にわたって備えられる認知症の保障	「認知症共済」
老後の備え	● 自分で準備する将来の年金保障	予定利率変動型年金共済「ライフロード」
学資の備え	● お子さま・お孫さまの教育資金の備えと万一保障	こども共済「学資応援隊」

自動車共済の新たな保障提供 (令和6年6月・令和7年1月)

令和6年6月から、レッカー・ロード費用保障条項、保障を拡充した車両諸費用保障特約の取り扱いを開始しました。

また、令和7年1月から、道路交通法の改正を踏まえた「運転者一定年齢限定保障特約」、支払限度額を変更した「弁護士費用保障特約」の提供を開始しました。

がん共済の新たな保障提供(令和7年4月)

入院期間の短期化や、薬物治療・在宅医療の増加等のがん治療の変化に対する保障ニーズにお応えする新たな「がん共済」の取扱いを開始しました。



- 火災はもちろん地震にも備えられる建物・家財の保障

建物更生共済
「むてきプラス」
「My家財プラス」



- お車の事故による賠償やご自身とご家族のケガ、修理に備える

自動車共済
「クルママスター」



- 農業において発生するさまざまな賠償リスクを幅広く保障

農業者賠償責任共済
「ファーマスト」

I.取組状況

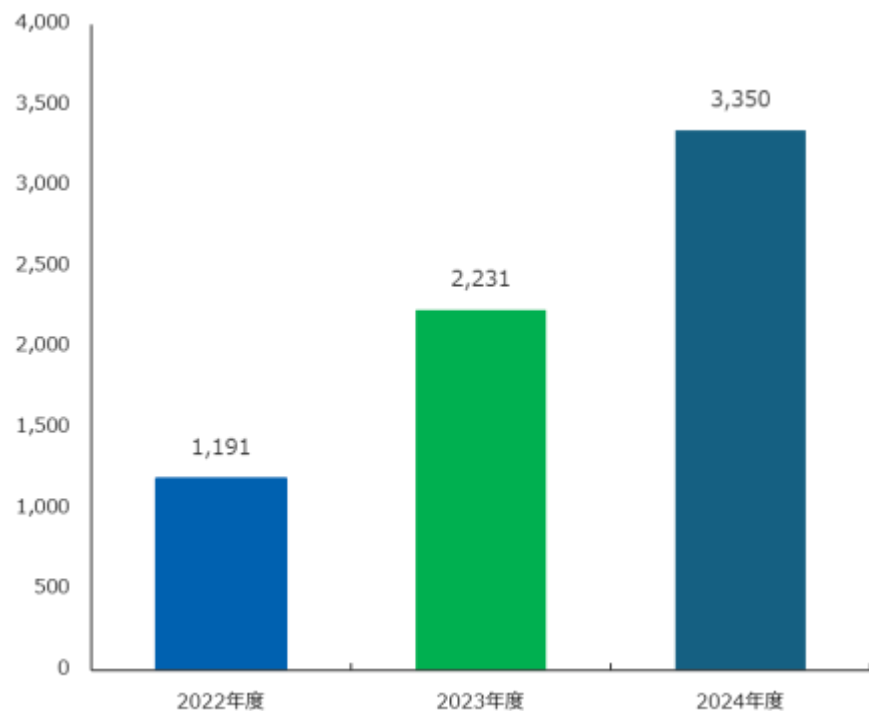
2 組合員・利用者さま本位のご提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

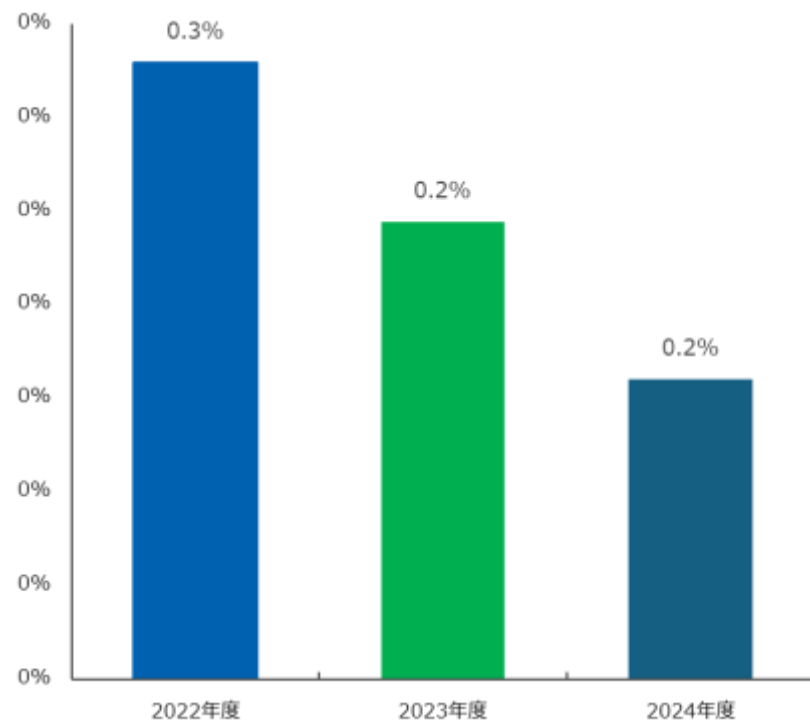
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～7)】

- ・組合員・利用者さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、適切な情報提供を行っております。特に投資経験の少ない現役世代の増やすニーズに対して、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員・利用者さまは着実に増加しております。
- ・「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまの割合は、2022年～2024年度では1%未満と僅少でした。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



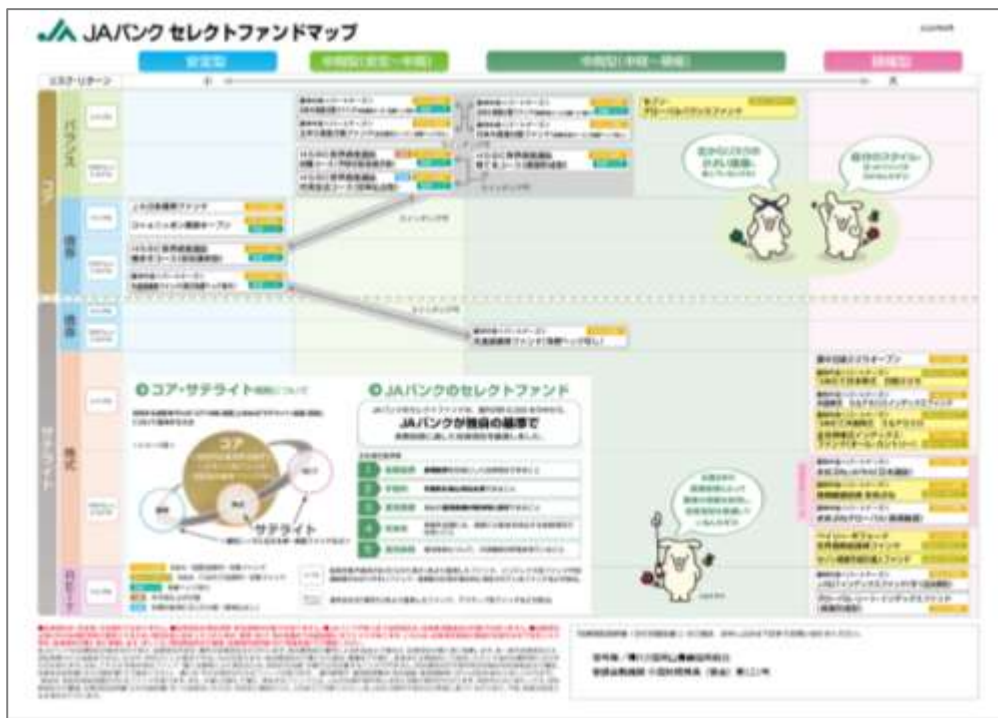
I. 取組状況

2 組合員・利用者さま本位のご提案と情報提供②

(1) 信用の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- ・ 組合員・利用者さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項については、十分にご理解いただけるよう丁寧な説明に努めております。また、投資判断に必要となる情報についても、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用して簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しております。
- ・ なお、多様な商品を容易に比較できることを目的として、2022年4月から重要情報シートを導入しております。



【J Aバンクセレクトファンドマップイメージ 表面】



【重要情報シート】

I.取組状況

2 組合員・利用者さま本位のご提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1,2,4,5）】

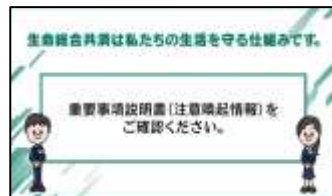
- 組合員・利用者さまに寄り添った保障提案や分かりやすい説明に努めた各種公的保険制度の情報提供や広報施策による情報発信を行い、最適な保障・サービスを提供しております。
- 保障の加入にあたっては、組合員・利用者さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、分かりやすい重要事項説明（購入する商品・契約の概要・注意喚起事項）を実施しております。

意向把握・確認と重要事項説明の実施

● 意向把握・確認

JA共済では、一人ひとりのご意向に沿った共済にご加入いただくため、ご意向を把握・確認しながらご提案を実施しています。

こうした丁寧な意向把握・確認を徹底できるよう、重要事項説明書の交付、タブレット型端末機「Lablet's (ラブレッツ)」を用い説明動画の視聴を行っております。



重要事項説明書の概要をご案内する動画



重要事項説明書(契約概要)



重要事項説明書(注意喚起情報)

I. 取組状況

2 組合員・利用者さま本位のご提案と情報提供④

(2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1,2,4,5）】

- ・ ご高齢の組合員・利用者さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご契約時にはご家族の方に同席いただくことを基本とし、同席が困難な場合は電話等により加入内容を説明させていただき、きめ細かい対応を行っております。
- ・ 保障加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者さまにご負担いただく手数料等はございません。
- ・ 各種手続きの実施に当たっては、組合員・利用者さまに分かりやすい説明を心がけるとともに、日々の接点を通じてより安心いただけるアフターフォロー（3Q活動・あんしんチェック・お役立ち情報の提供）を実施しております。

令和6年度高齢者対応状況 親族同席・確認割合	81.6%
令和6年度3Q活動実施人数	119,498人
令和6年度あんしんチェック実施人数	110,333人

令和6年度実施 家族の防災点検運動



家族の防災点検運動チラシ



防災チェックシート



訪問用ノベルティ(防災タオル)

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則 3 本文および（注）】

- 組合員・利用者さまへの商品選定や情報提供にあたり、利益が不当に害されることのないよう、農業協同組合法、金融商品取引法および関係するガイドラインを遵守いたします。
- また、利益相反するおそれのある取引を適切に管理するために、利益相反のおそれのある取引の類型化や特定方法を定めた「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。

I.取組状況

4 組合員・利用者さま本位の業務運営を実現するための人材育成と態勢構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）】【原則7本文および（注）】

- ・当JAでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、外部講師による資産形成・運用提案研修や勉強会の実施、証券外務員資格の取得を推進しております。
- ・また、岡山県内を広くカバーするJAであることから、どの地域においても適切な金融サービスを提供できるようLPC（ライフプランコンサルタント）の拡充および適切な配置に注力してまいります。
- ・一生涯にわたる、つかう・ためる、そなえる・ふやす・のこすといった総合的な金融ニーズに応える為、共済仕組み・サービスを取り扱う担当者を通称「LA（ライフアドバイザー）・SS（スマイルサポーター）」と呼び、組合員・利用者さまのライフイベントに寄り添った幅広い金融サービスを提供しております。

<LPC内部研修および資格制度>

内部研修	受講者数
・資産形成・運用研修	23名
・資産形成サポートプログラム	23名
外部資格	資格保持者数
・第一種証券外務員	790名
・内部管理責任者	596名

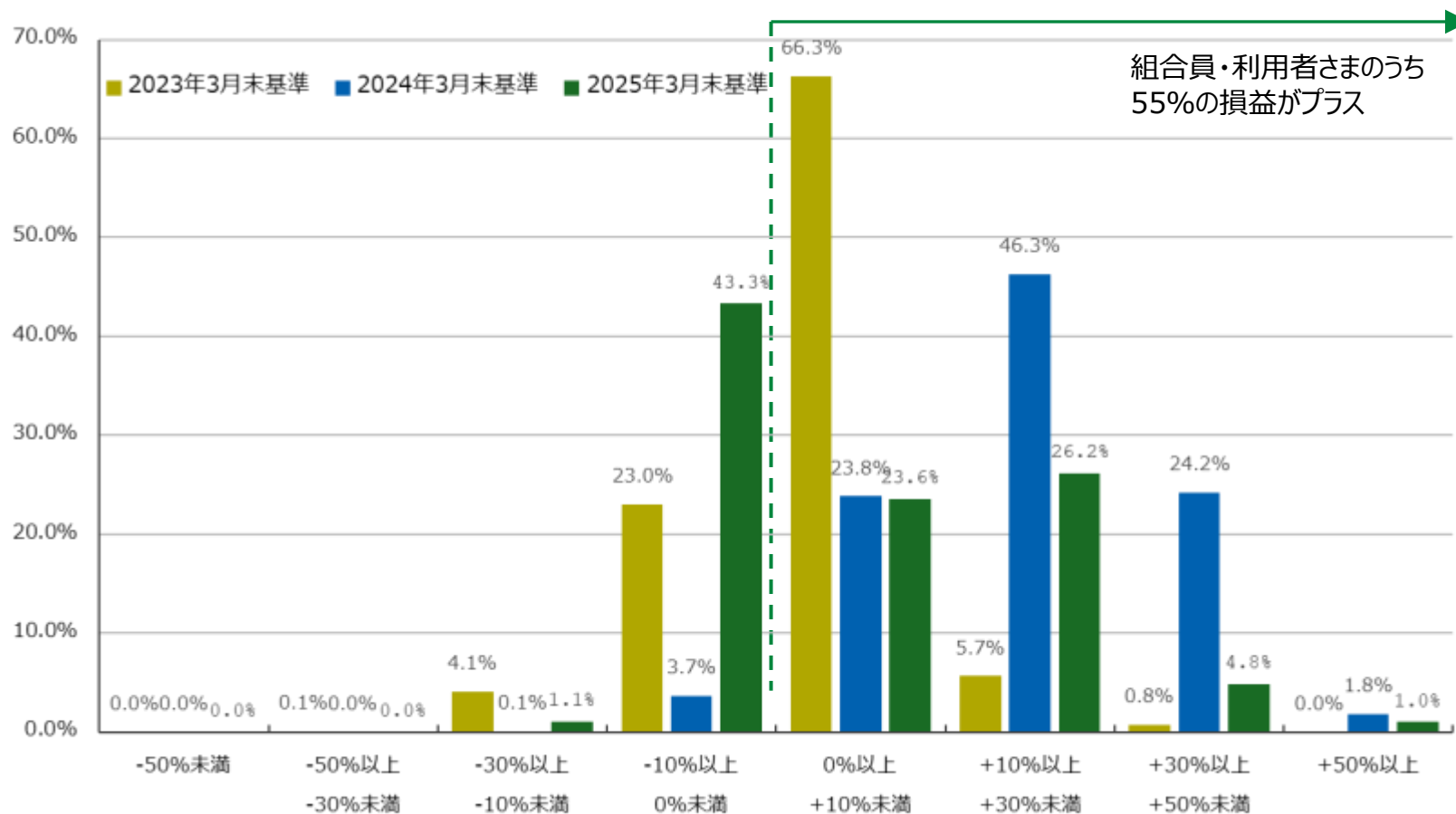
<LA・SSの内部研修および資格制度>

内部研修	受講者数
・ライフアドバイザー認証要件研修	53名
・スマイルサポーター認証要件研修	6名
・公的保障研修(推進活動事前研修)	578名
・共済税務研修	13名
外部資格	資格保持者数
・FP2級技能士	137名 (AFP含む)

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

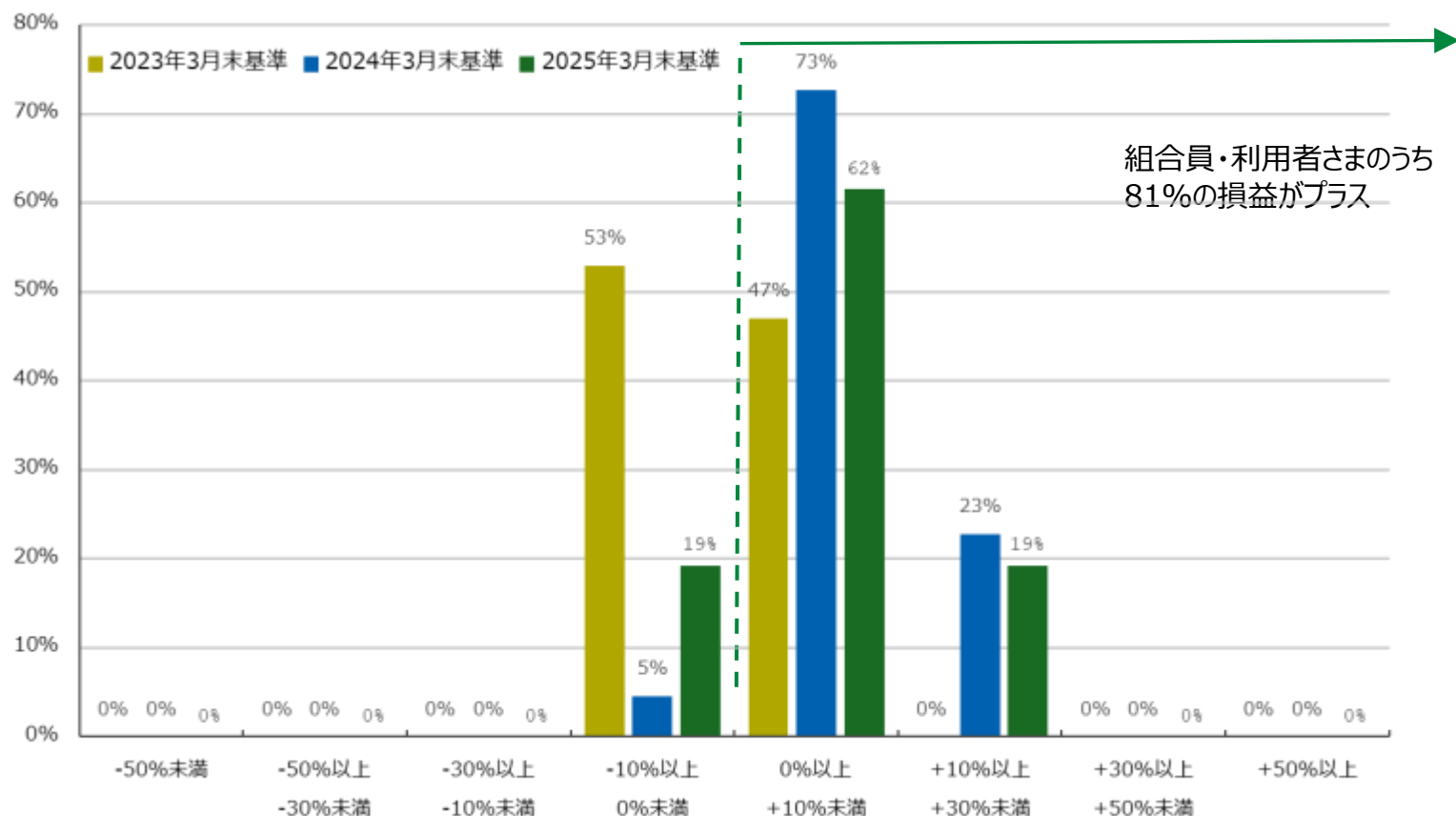
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の55%の組合員・利用者さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）の「運用損益別顧客比率」は、2025年3月末時点で全体の81%の組合員・利用者さまの損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、組合員・利用者さまの目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。

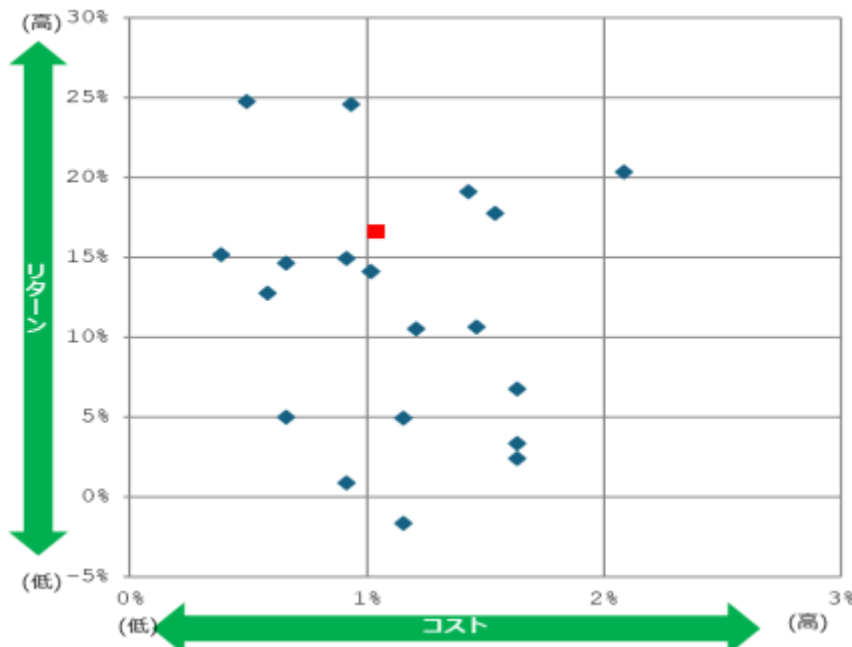


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

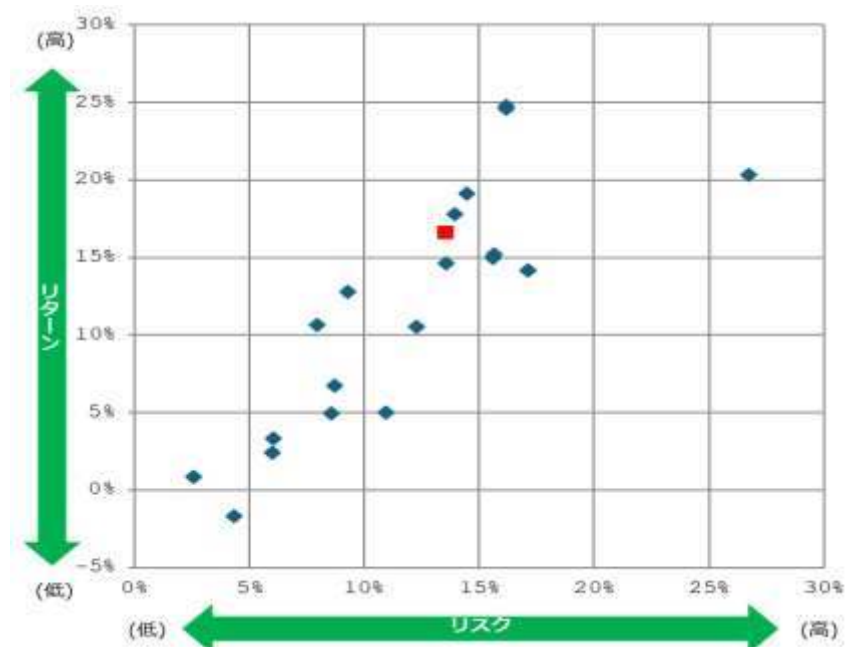
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク13.55%に対して、平均リターンは16.63%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



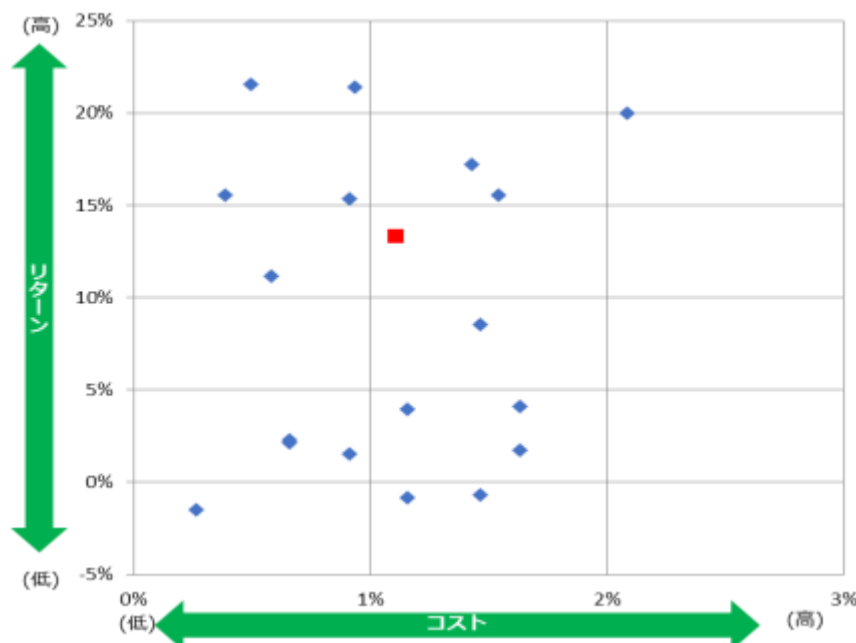
※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、15ページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

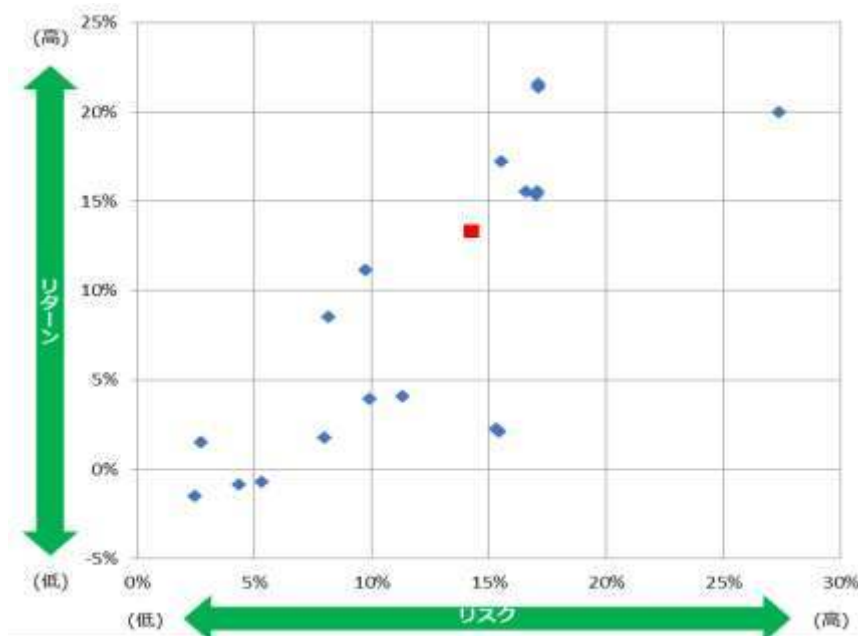
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.1%、平均リスク14.2%に対して、平均リターンは13.3%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



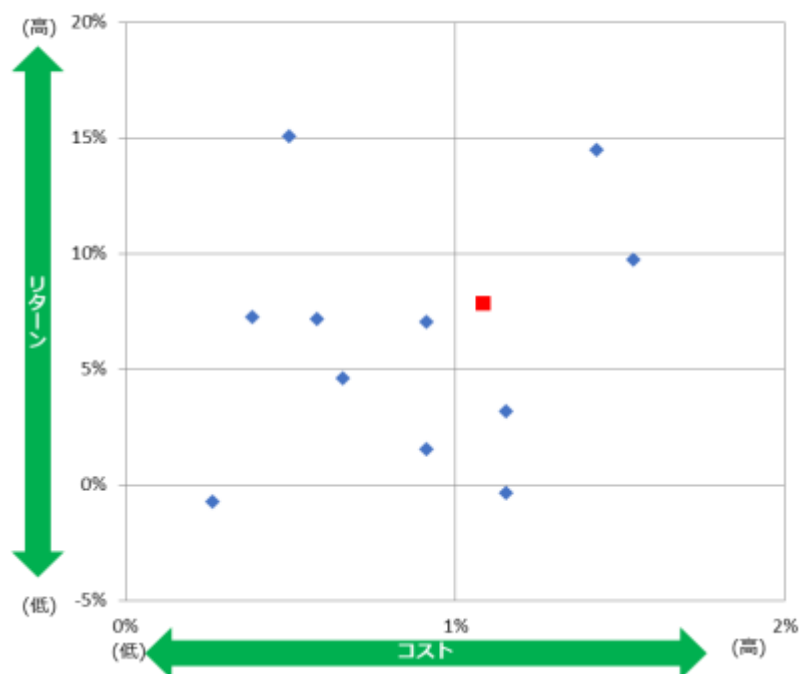
※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、16ページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

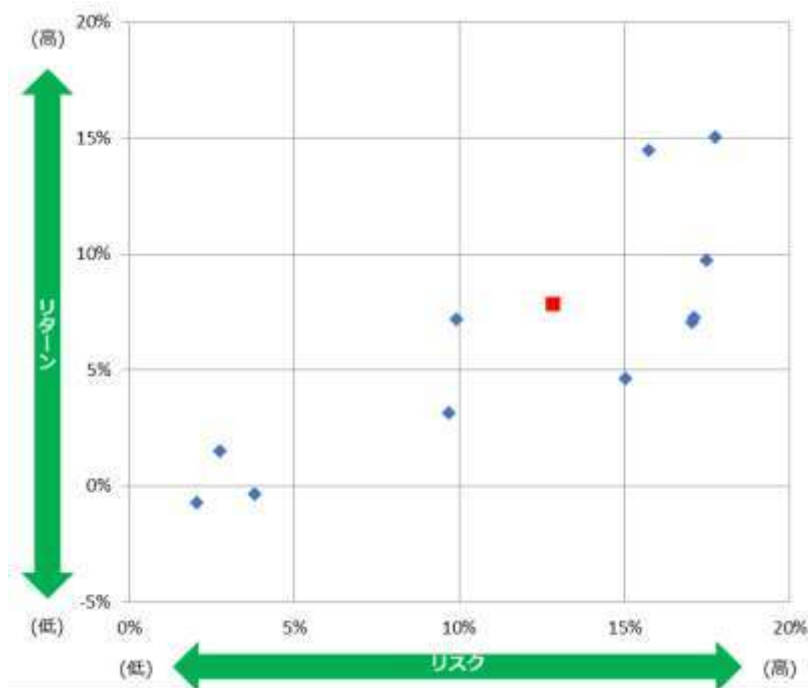
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.1%、平均リスク12.8%に対して、平均リターンは7.9%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※各ファンドのコスト・リスク・リターンは、17ページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.93%	8.59%	1.16%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	17.77%	13.93%	1.54%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	19.14%	14.48%	1.43%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	12.76%	9.29%	0.58%
7	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント (株)	20.35%	26.74%	2.08%
8	おおぶねグローバル (長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	14.63%	13.58%	0.66%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.19%	15.67%	0.39%
10	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
11	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.96%	15.62%	0.91%
12	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
13	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-1.66%	4.34%	1.16%
14	おおぶね J A P A N (日本選抜)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	10.52%	12.27%	1.21%
15	グローバル・リート・インデックスファンド (資産形成型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント (株)	14.15%	17.14%	1.02%
16	HSBC世界資産選抜 充実生活コース (定率払出型) 人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
17	J - R E I Tインデックス (年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.99%	10.96%	0.66%
18	グローバル・リート・インデックスファンド (毎月決算型) 世界のやどかり	大和アセットマネジメント (株)	14.14%	17.14%	1.02%
19	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	0.87%	2.57%	0.91%
20	グローバル・インカムフルコース (為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント (株)	10.63%	7.96%	1.46%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.63%	13.55%	1.04%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.0%	9.9%	1.2%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.6%	17.1%	0.5%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.5%	16.5%	1.5%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.4%	17.1%	0.9%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.2%	15.5%	1.4%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.1%	9.7%	0.6%
7	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.0%	27.4%	2.1%
8	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.8%	8.0%	1.6%
9	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.1%	11.3%	1.6%
10	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.9%	4.3%	1.2%
11	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.6%	17.1%	0.4%
12	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.3%	17.0%	0.9%
13	J-R E I T インデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.1%	15.4%	0.7%
14	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.5%	2.5%	0.3%
15	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.5%	2.7%	0.9%
16	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.6%	8.2%	1.5%
17	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.7%	5.3%	1.5%
18	J-R E I T インデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.3%	15.3%	0.7%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.3%	14.2%	1.1%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は18本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド*(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.2%	9.7%	1.2%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.7%	17.5%	1.5%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.5%	15.7%	1.4%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.1%	17.7%	0.5%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.2%	9.9%	0.6%
6	日米6資産分散ファンド*(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.3%	3.8%	1.2%
7	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.7%	2.1%	0.3%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.3%	17.1%	0.4%
9	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.0%	17.0%	0.9%
10	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.5%	2.8%	0.9%
11	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.6%	15.0%	0.7%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.9%	12.8%	1.1%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。